

事業コード	H29-建-継-02		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道285号		担当課長名	参事(兼) 道路課長 石川 浩司
箇所名	北秋田市滝ノ沢(滝ノ沢バイパス)		担当者名	副主幹(兼) 班長 太田 哲
プランとの関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

1. 事業の概要

事業期間	H15 ~ H31(17年)	総事業費	61.0億円	国庫補助率	65.45																																																												
事業規模	○延長L=5,420m、幅員W=6.5(12.0)m(1.50+3.25+3.25+1.50+2.5)m																																																																
事業の立案に至る背景	○一般国道285号は、秋田市を起点に北秋田市を経て鹿角市に至る幹線道路であり、秋田市と県北部を最短距離で結ぶルートとして、産業・経済の地域間交流を促進するほか、十和田八幡平及び阿仁森吉山観光を支援する観光道路の機能を有する重要な路線である。当該区間はバス路線に指定されており、地域内交通を支える生活道路としても機能しているが、急カーブ(Rmin=30m)が連続し、更に320m区間で急勾配となっており、重大事故が発生する等車両の安全な走行に支障を来している。 ○道路利用者の安全と、第二次緊急輸送路としての機能を確保するため、早急に整備を行う必要がある。																																																																
事業目的	○第二次緊急輸送路としての機能確保(防災・危機管理) ○バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ○高速ICへのアクセス機能強化(鷹巣IC、あきた北空港IC(仮称)) ○空港の利便性向上(大館能代空港)																																																																
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>計画時</th> <th>評価時</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">事業費内訳</td> <td>事業費</td> <td>6,500,000</td> <td>6,100,000</td> <td>▲400,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>5,304,000</td> <td>4,988,000</td> <td>▲316,000</td> <td>残土受入先の変更による減。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内訳</td> <td>用補費</td> <td>700,000</td> <td>646,000</td> <td>▲54,000</td> <td>建物調査による補償費の減。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>496,000</td> <td>466,000</td> <td>▲30,000</td> <td>用地測量範囲の精査による減。</td> </tr> <tr> <td>国庫補助</td> <td>4,550,000</td> <td>3,992,450</td> <td>▲557,550</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>県債</td> <td>1,755,000</td> <td>1,896,700</td> <td>141,700</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>195,000</td> <td>210,850</td> <td>15,850</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工 トンネル工</td> <td></td> <td>調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工 トンネル工</td> <td></td> <td>国庫補助率の変更による</td> </tr> </tbody> </table>							計画時	評価時	増減	理由等	事業費内訳	事業費	6,500,000	6,100,000	▲400,000		経費					工事費	5,304,000	4,988,000	▲316,000	残土受入先の変更による減。	内訳	用補費	700,000	646,000	▲54,000	建物調査による補償費の減。	その他	496,000	466,000	▲30,000	用地測量範囲の精査による減。	国庫補助	4,550,000	3,992,450	▲557,550		財源内訳	県債	1,755,000	1,896,700	141,700		その他					一般財源	195,000	210,850	15,850		事業内容	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工 トンネル工		調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工 トンネル工		国庫補助率の変更による
			計画時	評価時	増減	理由等																																																											
事業費内訳	事業費	6,500,000	6,100,000	▲400,000																																																													
	経費																																																																
	工事費	5,304,000	4,988,000	▲316,000	残土受入先の変更による減。																																																												
内訳	用補費	700,000	646,000	▲54,000	建物調査による補償費の減。																																																												
	その他	496,000	466,000	▲30,000	用地測量範囲の精査による減。																																																												
	国庫補助	4,550,000	3,992,450	▲557,550																																																													
財源内訳	県債	1,755,000	1,896,700	141,700																																																													
	その他																																																																
	一般財源	195,000	210,850	15,850																																																													
事業内容	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工 トンネル工		調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工 トンネル工		国庫補助率の変更による																																																												
事業の進捗状況	○平成28年度末で事業進捗率80%(用地進捗率は100%)。 ○平成22年3月までに、1,780mを供用済み ○平成30年度全線供用開始予定																																																																
事業推進上の課題	○特になし																																																																
関連する計画等	○北秋田市総合戦略 ○北秋田市地域公共交通網形成計画																																																																
情勢の変化及び長期継続の理由	○日本海沿岸東北自動車道 鷹巣大館道路(鷹巣~二井田真中) H28.10.15供用開始 " (あきた北空港~鷹巣) H29供用予定																																																																
事業効果把握の手法及び効果	指標名	県管理国道改良率																																																															
	指標式	整備率(整備済み延長/路線実延長)																																																															
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																												
	目標値 a	94.5%		データ等の出典	道路課調べ																																																												
	実績値 b	93.8%		把握の時期	平成29年 4月																																																												
達成率 b/a	99.3%																																																																

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	○当該区間は線形不良 (最小曲線半径30m、最急勾配7.5%)で、冬期堆雪帯がなく、1年を通じた交通の安全確保が望まれる。 ○平成24年度には死亡事故が発生している。	10点
緊 急 性	○国道285号は県土の骨格を形成する道路ネットワークとして、重点的に整備を進めており、日本海沿岸東北自動車道が鷹巣ICまで延伸したことで更に利便性が高まることから、早急に整備を行うこと必要である。	10点
有 効 性	○第2次緊急輸送道路であり、災害時の避難救助活動や救急医療施設へのアクセス道路としての活用が見込まれ、防災計画に重要な幹線道路である。 ○日本海沿岸東北自動車道の鷹巣～二井田真中間がH28年度に供用開始し、あきた北空港 (仮称)～鷹巣間もH29年度に供用開始予定となっており、県北部のネットワークが強化されることから、本路線も時期を合わせて供用することで相乗的な効果が期待される。	24点
効 率 性	○事業の費用便益比は2.0であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 153.3億円 ・総費用の現在価値 77.5億円	20点
熟 度	○平成28年度末の事業進捗率は80%である。 ○平成22年3月までに1,780mが供用開始済み。	20点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ)	84点
	緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (H29-建-継-02)
箇所名 (北秋田市滝ノ沢)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要		
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>5% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	8	最小半径30m 最急勾配7.5% 冬期堆雪巾なし 計 3箇所		
			2箇所	5				
			1箇所	3				
			0箇所	0				
			計					
		道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≥1.0 ・現道の旅行速度≤30km/h ・現道の事故率≥50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生	5件該当	7	2	重大事故(H24死亡事故)		
			4件該当	6				
			3件該当	5				
			2件該当	4				
			1件該当	2				
		該当項目なし	0					
		計		15	10			
		緊急性	道路をとりまく環境等	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	10	10	北秋田市総合計画 北秋田市地域公共交通網形成計画
					なし	0		
					計			
緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等	あり			5	0			
	なし			0				
計				15	10			
有効性	道路の位置づけ	緊急輸送路	第1次輸送路	10	8	第2次緊急輸送道路		
			第2次輸送路	8				
			第3次輸送路	6				
			指定なし	0				
		救急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	10	6	北秋田市民病院		
			間接的に補完する	6				
			アクセスへの貢献は小さい	3				
		社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10	日本海沿岸東北自動車道 鷹巣～二井田真中H28供用 あきた北空港～鷹巣H29供用予定		
			低下傾向	6				
			必要性が低い	3				
計		30	24					
効率性	事業の投資効果等	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	B/C=2.0		
			1.0未満	0				
		計画交通量	5,000台/日以上	5	5	6,400台/日		
			1,000台/日以上～5,000台/日未満	3				
		コスト削減	1,000台/日未満	0	5	橋梁を函渠に見直し		
			あり	5				
		事業中止による影響	なし	0	5	大規模バイパス		
			既投資額の損失大	5				
			既投資額の部分的損失	4				
		既投資額の損失が少ない	3					
計		20	20					
熟度	事業の進捗進捗状況	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	10	進捗率80%		
			5割以上完了	8				
			1割以上完了	5				
			1割未満	2				
			計					
		用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	10	進捗率100%		
			5割以上完了	8				
			1割以上完了	5				
			1割未満	2				
			未着手	0				
計		20	20					
合計				100	84			

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		